

「連載.jp」執筆マニュアル

ガジェット通信(<http://getnews.jp/>)はオープンな執筆な場として「連載.jp」(<http://rensai.jp/>)という姉妹サイトを運営しています。連載.jpでは審査を通過した方であればどなたでも参加して記事を執筆し公開することができます。また、優れた記事は、ガジェット通信でも紹介しています。今や自分のブログやSNSサイトで記事を公開するだけではなかなか多くの人に読んでもらうことができない時代です。ガジェット通信で記事が紹介されることにより、多くの読者にあなたの原稿を読んでもらうチャンスが生まれます。



■はじめの方へ

まずは、連載.jpに「[新規登録](#)」をお願いします。登録内容は編集部で一人ずつ審査をしています。登録までに数日必要な場合があります。気長にお待ち下さい。何か事情がありどうしても急いで書きたい場合は[編集部までご連絡ください](#)。

連載.jpのシステムは、世界的に最も普及しているブログシステム「WordPress」を使っています。使い方は検索サイトで「[WordPress 使い方](#)」で検索すればいろんな解説ページが見つかりますので自分に合ったものを探してみてください。

■必ず守って欲しい大事なルール

大事だけどうっかり間違えやすいルールを4点お知らせします。

1. 他の著作権者の権利を守ってください。画像には必ず権利者表記が必要です。オリジナル写真の場合は「写真は著者撮影」等と書いてください。表記位置は記事の末尾でお願いします。
2. 引用のルールを守ってください(参考)。時に引用の量が多すぎる人がいます。他人の文章をコピーして自分の文章のように見せてはいけません。
3. 他人を侮辱することが目的の投稿はやめてください。批判する場合は褒める時の10倍慎重におこなってください。公開ボタンを押すとき、自分の原稿が世の中をよくするためにプラスになっているか考えてみてください。
4. 連載.jpでは記事の先頭に必ず画像が必要です。うっかり忘れる人が多いので、お忘れなく。



■連載.jpでできないこと

最初に断っておかなければなりません。連載.jpで原稿料は基本的に発生しません。

連載.jpの目的は「より多くの読者に記事を読んでもらえる」というところにあります。

もちろん、連載.jpでの執筆を通して知り合い、ガジェット通信編集部から仕事として執筆をお願いしている執筆者さんも少なからず存在するのですが、連載.jpはそれが目的のサイトではありません。

ライターさんの仕事探しの場とはちょっと違いますよ、という点を理解していただいた上での参加をお願いします。

■もくじ

■[はじめての方へ](#)

■[必ず守って欲しい大事なルール](#)

■[連載.jpでできないこと](#)

■[もくじ](#)

■[連載.jpへの新規登録](#)

■[連載.jpへのログイン](#)

■[連載.jpで記事を書く](#)

◆[連載.jpに登録後やること](#)

- [1. 連載.jp執筆システムにログインできるか試す](#)
- [2. ユーザーアイコンの設定。プロフィールの見直し](#)
- [3. はじめての記事を書いてみる](#)
- [4. 記事が rensai.jp に掲載されていることを確認する](#)

■[記事執筆ルール](#)

◆[文字の強調、文章の引用](#)

◆[記事中のリンクについて](#)

◆[動画の貼り付けについて](#)

◆[表記ルールについて](#)

◆[表記ルール詳細](#)

- [常用漢字のチェック](#)
- [カッコのルール](#)
- [英数半角のルール](#)

◆[画像について](#)

- [画像フォーマットについて](#)
- [使用する画像について](#)
- [写真の内容について](#)
- [クレジット表記について](#)

[画像利用マニュアル](#)

- [記事を書く際には必ずTOP画像が必要になります。TOP画像は記事に関連する画像を選んで下さい。](#)
- [画像をダウンロードして、記事トップに貼り付けてください。](#)
- [記事末尾に著作者表記](#)
- ◆[使用してはいけない画像について](#)
 - [Amazonの画像は基本的に使用してはいけません](#)
 - [人物の写っている画像は要注意](#)

○ネガティブな内容の記事で個人や商品が特定できる画像の使用は避ける

■わからないことがあれば

■連載.jpで執筆を楽しんでください

■執筆者お役立ちリンク集

■FAQ

■連載.jpへの新規登録

連載.jp登録フォーム

<http://rensai.jp/regist>

登録フォームから登録をお願いします。登録内容は一人ずつ審査しており、数日かかる場合もあります。登録完了するとメールが届きますので、ログインして執筆を開始してください。

■連載.jpへのログイン

連載.jpへのログインページ

<http://rensai.jp/wp-admin/>

■連載.jpで記事を書く

連載.jpは「WordPress」という世界で一番普及しているブログシステムをベースにしています。記事執筆の方法については「[Wordpress 使い方](#)」というキーワードで検索すれば解説ページがでてきますので、探してみてください。

◆連載.jpに登録後やること

連載.jpに登録後やることをまとめます

1. 連載.jp執筆システムにログインできるか試す
2. ユーザーアイコンの設定。プロフィールの見直し
3. はじめての記事を書いてみる
4. 記事が <http://rensai.jp/> に掲載されていることを確認する

こんな感じです。それぞれ簡単に解説してみます。

○1. 連載.jp執筆システムにログインできるか試す

ログインに関する情報が書かれたメールが届いているはずですので、それに従ってログインしてみてください。やり方がわからなければ管理人へ連絡しましょう。ログインできねばなんにもできませんですよ。

○2. ユーザーアイコンの設定。プロフィールの見直し

ログインできたら、まずはユーザーアイコンを設定してみてください。左メニュー「ユーザー」から「あなたのプロフィール」という項目を選択してください。尚、連載.jpはGavatarに対応していますので、Gavatarに登録済の人は設定不要です。Gavatarという言葉をはじめてきた人は気にしないでいいです。プロフィールも見直しましょう。ここに書かれたプロフィールがそのまま記事下に掲載されますので、コンパクトになっているか一度見直してください。

○3. はじめての記事を書いてみる

準備ができたなら記事を書いてみましょう。記事には必ず1枚以上画像をつけてください。記事の本文が始まる前(記事の一番最初)に画像があるか確認してください。

○4. 記事が rensai.jp に掲載されていることを確認する

記事が完成したら「公開」して <http://rensai.jp/> に掲載されていることを確認してください。

■Amazonアフィリエイトについて

連載.jpに掲載する記事には、あなたのAmazonアフィリエイトIDで商品掲載をおこなうことができます。[Amazonアフィリエイトのアカウント取得](#)はAmazonさんのサイトでおこなってください。設定した商品とアフィリエイトIDはガジェット通信掲載時も引き継がれますが、記事公開から半年経過するとアフィリエイトIDはガジェット通信のものに自動変更されます。



■記事執筆ルール

連載.jpは記事の先頭に画像必須です。本文が始まるより前に画像を置いてください。

複数の画像を使う場合は、画像を貼り、その後にその内容と関連するパラグラフを書く方が読みやすくなります。画像がまったくない記事は公開できません。

画像リンクは不可です(画像にリンクをつけることはできません)。画像配置は中央(center)で、画像の横幅、縦幅は640ピクセルが上限となります。

◆文字の強調、文章の引用

文中で強調したい箇所はタグを使って記載します。(厳守)

長文のコメントや文章を引用する場合には、blockquoteタグを使用します。
引用した場合は引用のソースを明記するようにしましょう。画像の引用についても同様です。

◆記事中のリンクについて

ガジェット通信に掲載する場合、記事中にリンクを使うことはできません。(厳密にいうと、1回使うことができますが、連載.jpの執筆者さんの場合、著者さんの紹介ページへのリンクに使用しているため、文章の他の部分に使うことができません。)

URLを表記することはできますが、<a>タグでリンクをおこなうことはできません。

◆動画の貼り付けについて

記事中に『YouTube』や『ニコニコ動画』の動画を貼り付けることができます。動画URLを記載したうえでorigタグ内に動画タグとcenterタグで囲みます。origタグは編集画面の上部にボタンがありますので、それを押すことで編集画面上に出力されます。

```
<!-- orig { -->この中にYouTubeやニコ動等の埋め込みタグをコピペします<!-- } orig -->
```

centerタグは動画を真ん中に配置するためのタグです。編集ツールの「c」ボタンで画面に出すことができます。

記述例(YouTube)：

日本通信 新入社員ビデオコンテスト「テザリングとは？」

https://www.youtube.com/watch?v=mcuNwvkOfrg&feature=player_embedded

例えばこの動画を埋め込みたい場合、以下のような記述となります。

```
<!-- orig { --><iframe width="500" height="281"
src="https://www.youtube.com/embed/mcuNwvkOfrg" frameborder="0"
allowfullscreen></iframe><!-- } orig -->
```

◆表記ルールについて

最低限、下記に注意してください。

- ・常用外漢字を使わない(固有名詞、人名、ブログタイトルを除く)
- ・カッコの使い方
- ・英語と数字は半角
- ・「です・ます」体、「だ・である」体を統一して書く

◆表記ルール詳細

○常用漢字のチェック

『常用漢字チェッカー』が便利です。どうしても常用外の漢字を使う場合は(カッコ)でよみがなをつけてください。

<http://elearn.jp/joyo/index.php>

○カッコのルール

- ・「カッコ」はコメント
- ・『太カッコ』は製品名やサービス名など固有名詞
- ・“引用符”は強調や他のカッコの代用

例：“世界最薄”のAndroidスマートフォン『●●●●』開発者は「これ以上薄いのは無理」と語った。

- ・プラットフォームの表記はすべてカッコをつけるとうるさいので、カッコ不要とします

例：iPhoneアプリとしてリリースされ、全世界で人気を博したゲーム『Angry Birds』は、その後Android版、Windows版、Mac版がリリースされ、今後はPS3版とPSP版のリリースが予定されている。

※iPhone本体を指す場合には『』をつけます

カバンから『iPhone』を取り出し、早速『Angry Birds』をダウンロードしてみた。

○英数半角のルール

英字はすべて半角にする。

数字はすべて半角にする。

◆画像について

連載.jpは「画像必須」です。記事には必ず1枚以上の画像を入れてください。写真でもイラストでも、画像であればOKです。また、記事の一番最初に必ず1枚写真が必要です。記事全体で1枚しか画像を使わない場合は、記事の一番先頭に配置してください。

○画像フォーマットについて

フォーマットは基本JPEGでお願いします。幅1024ピクセル×高さ1200ピクセルを超える画像は、自動的に縮小され保存されます。

○使用する画像について

基本的には、記者が撮影した写真を使うことになります。記事の末尾に権利者表記をおこなってください。記者自身が撮影したものでも「写真は著者撮影」などと記述してください。以下のような写真は利用できません。

- 掲載許可をもらっていない一般個人が写っている写真
- 他者の権利を侵害する写真・画像

記事に合った写真・画像を持っていないという場合は、以下の方法で画像をつくります。

- イラストを描く
- フリー画像サイトなどから、利用可能な画像を探して利用する
- 記事に関連するウェブサイトからサイト全体のスクリーンショットを撮る(部分的な抜き出し不可)

まず、「イラストを描く」ですが、自分でイラスト描いていただいてもよいですし、他の連載.jp参加者さんの中でイラストが得意な方もいらっしゃいますので、それらのみなさんに声をかけて描いていただく、という方法があります。描いていただいた場合などは、記事中にイラストレーターの名前も書き添えましょう。

次に、フリー画像サイトの利用ですが、引用元の明記を条件に利用を認めている場合など、記事に利用することが可能です。それぞれの画像ごとに条件が違う場合もありますので、きちんと確認しましょう。フリー画像を検索するサイトもありますので、代表的なものを。

igosso画像検索 <http://www.igosso.net/>

写真素材 足成 <http://www.ashinari.com/>

写真AC <http://www.photo-ac.com/>

ウェブサイトのスクリーンショットですが、ウェブから一部の画像だけを抜き出して使うのは禁じ手です。例えば、芸能人のウェブサイトから目的の芸能人の写真のみを抜き出して使おうとするウェブライターさんがよくいらっしゃるのですが、これはアウト。ただし、ウェブサイトの全体像がわかる形でページのスクリーンショットを撮り、それを縮小して使うのであれば、引用として認められます。もちろん、そのウェブサイトのスクリーンショットを使う必然性は当然必要ですし、これは「引用」として認められている範疇ということですから、引用の条件を満たしているか都度きちんと確認する必要があります。

○写真の内容について

当然のことながら、読者を不快にさせるような写真や、過激なものは利用できません。また、被写体を侮辱するような写真は禁止します。

○クレジット表記について

画像に関しては、いかなる場合もクレジット表記をお願いします。クレジット表記は、記事の最後にまとめておこなってください。自分で撮った写真の場合は「トップの写真は著者撮影のもの」という風に表記しておいてください。自分の写真だから書かなくていいや、とは思わないでください。編集者がチェックする際、著者が撮ったものなのか、表記忘れなのか判断できません。引用の場合は、当然ながら、どこから引用したものか書いておいてください。ウェブからの場合は、URLを表記します。(2枚目の写真: <http://hogehoge/> からの引用)てな感じです。

画像利用マニュアル

<https://docs.google.com/document/d/1E-4d2SbbHt7qEvGK7hWNImZEL4AktvxNLmrKxCi0sUs/edit?usp=sharing>

より引用

○記事を書く際には必ずTOP画像が必要になります。TOP画像は記事に関連する画像を選んで下さい。

自分で撮った写真、ネットの話題でしたら、そのページのスクリーンショット、企業の記事でしたら、その企業のホームページのTOP画面などを使用してください。

特定の人物に関する記事の場合、その方が公人や芸能人であるならば、そのまま人物の写真を使っても構いませんが、一般の方である場合は、なるべく人物の写真は使用せず、記事の内容上どうしても必要である場合だけ、目線を入れるなど、人物を特定されない加工をした上で使用して下さい。

記事で使用する適当な画像が見つからない場合、ロイヤリティフリーの画像の中から、なるべく記事の内容に合っているものを探して下さい。下記URLのサイトを参考にするとよいと思います。

無料・ロイヤリティフリー画像素材サイト

<https://docs.google.com/spreadsheet/ccc?key=0AqwlO4cP1rv0dHMwT3FaSFdjOTc1TkRDaGkzSExxZ2c&usp=sharing>

※ロイヤリティーフリーとは？

ロイヤリティーとは使用料のこと。ロイヤリティーフリーとは、作品を使用するごとに本来は支払わなければならない使用料が、一定の条件の下において無料ということであり、素材のダウンロード料が別途かかる場合でもこれに該当します。注意しましょう。

著作権フリーとは違います。著作権フリーに当たるのは、著作者が死後50年以上経過したパブリックドメインの作品や、著作者が著作権を放棄している作品のことを指します。このような作品は使用も加工も自由にできます。

ロイヤリティーフリーの作品では、創作物にクレジットやリンクを貼らなければ使用できない、素材自体を主として商業利用すること(写真集、ポストカードにするなど)は禁止など、使用に制限がかかります。

○画像をダウンロードして、記事トップに貼り付けてください。

ロイヤリティーフリーとは？

ツイート 0 いいね! 0 B! 0 Check 8+1 tumblr. Pocket 0

2014.01.14 19:34 投稿: miho_fuyu カテゴリ: カジニ通 タブ: 編集する

▶ **ローコスト住宅を建てる**
1,000万円台・坪単価20万円台の家大手ハウスメーカーのカタログ請求
www.jccokun-net.com

Ads by Yahoo! Japan



ロイヤリティーフリーとは？
ロイヤリティーとは使用料のこと。ロイヤリティーフリーとは、作品を使用するごとに本来は支払わなければならない使用料が、一定の条件の下において無料ということであり、素材のダウンロード料が別途かかる場合でもこれに該当します。注意しましょう。

○記事末尾に著作者表記

記事の末尾に(1)利用したサイト名、(2)画像があったページのURLを入れて下さい。自身で撮った写真の場合は「画像は筆者撮影」と書いておいて下さい。



ロイヤリティーフリーとは？

ロイヤリティーとは使用料のこと。ロイヤリティーフリーとは、作品を使用するごとに本来は支払わなければならない使用料が、一定の条件の下において無料ということであり、素材のダウンロード料が別途かかる場合でもこれに該当します。注意しましょう。著作権フリーとは違います。著作権フリーに当たるのは、著作者が死後50年以上経過したパブリックドメインの作品や、著作者が著作権を放棄している作品のことを指します。このような作品は使用も加工も自由にできます。

ロイヤリティーフリーの作品では、創作物にクレジットやリンクを貼らなければ使用できない、素材自体を主として商業利用すること（写真集、ポストカードにするなど）は禁止など、使用に制限がかかります。

画像：『足成』

<http://www.ashinari.com/2010/11/29-343270.php>

■関連記事

大ヒットアニメ『魔法少女まどか☆マギカ[新編]叛逆の物語』のBlu-ray/DVD予約開

◆使用してはいけない画像について

○Amazonの画像は基本的に使用してはいけません

著作権はあくまで版元にあるので、Amazonの画像だからいいということはありません。

詳しくは下記のページを参考にしてください。

<http://ameblo.jp/tyosaku/entry-10360253204.html>

○人物の写っている画像は要注意

自身が撮った写真でも、ロイヤリティーフリーの画像でも、一般の人が写り込んでいる写真はできるだけ使わないようにしてください。記事内容的に使いたい画像で、顔の判別ができるほどはっきりと人の姿が写ってしまっている場合は、モザイクを入れるなどして加工して下さい。

人物の画像を使いたい場合は、当人の許可がとれているものや、ロイヤリティーフリーの画像の中で、「モデルリリース」を取得しているものにして下さい。

○ネガティブな内容の記事で個人や商品が特定できる画像の使用は避ける
記事内容が特定の人物・商品に関するものでない限り、ネガティブな内容の記事に、人物・商品
がわかる画像の使用は避けてください。
例えば、「酒は体に悪い」という内容に、『●●ビール』や『焼酎○○』などの銘柄がわかる缶や瓶の
写真の使用はNGです。企業から訴えられる可能性があります。
ロゴなどが入っていない透明なジョッキに注がれたビールの写真や、お酒の入ったぐい呑の写真
などを使ってください。
人物に対しても同様です。「大きくて丸い目の女性は浮気しやすい」という内容に、実在の女性の
写真を使うなどはNGです。名誉毀損で訴えられる可能性があります。個人が特定できない目の
部分だけの写真やイラストを使うなどで対応してください。

■わからないことがあれば

わからないことがあれば、編集部までお知らせください。[ガジェット通信編集部への連絡はこちら](#)
[から](#)



■連載.jpで執筆を楽しんでください

連載.jpは、文章・写真・動画の発表の場をつくることにより、執筆そのものの楽しさを感じてもらおうという目的でつくったものです。連載.jpで記事を発表し、読者のフィードバックをもらい、最終的には連載.jpから独立してそれぞれの活動を繰り広げていっていただきたいと考えています。それでは、楽しい連載.jpライフを！

■執筆者お役立ちリンク集

- [世界中の無料素材サイトをまとめて画像検索できるサービス厳選6つ【ブロガー&Webデザイナー保存版】](#)
- [WordPressの使い方\(初心者向け\)](#)
- [連載.jp拡散数ランキング](#)

■FAQ

- Q:連載.jpに掲載した自分の記事をまとめて本にしていい？
A:もちろん問題ありません。書籍化する際、あらかじめ連絡してもらえれば出来る限りの応援もしたいと考えていますので是非お知らせください。
- Q:取材を行う場合はガジェット通信の名前を出していい？
A:連載.jpの取材でガジェット通信の名前を出すことはできません。ガジェット通信に必ず掲載されるわけではないので、あくまでご自分の取材という形にしてください。「フリーのライターとして、連載.jpに執筆している」という説明であれば問題ありません。